安寿（あんじゅ） 高さ調節付浴槽手すりUST−130

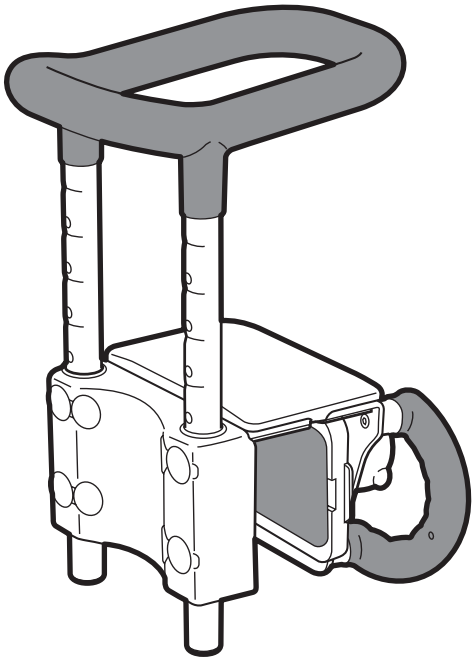
取扱説明書

ご使用前にこの取扱説明書と保証書をお読みください。

このたびは本製品をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- **正しくお使いいただくため、ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。**
- **取扱説明書を読んだあとは必ず保管してください。**

最大使用者体重：80kg



保存版
（保証書付）

SIAA
防カビ加工

この製品は、家庭の浴槽のまたぎ動作や立ち座り、浴槽内で姿勢の安定を補助する為の「浴槽手すり」です。それ以外の目的での使用はおやめください。

もくじ

必ずお読みください

各部のなまえ P.1

取り付け前のご確認 P.2〜3
- ■取り付けできる浴槽／取り付けできない浴槽

安全上のご注意 P.3〜7
- ■浴槽への取り付け上のご注意
- ■使用前のご注意
- ■使用中のご注意
- ■お手入れ上のご注意

取り付けかた・組み立てかた

取り付けかた・組み立てかた P.8〜12
- 1 浴槽手すりを取り付ける位置を決める
- 2 浴槽手すりの幅調節を行う
- 3 内グリップを取り付ける
- 4 グリップの高さ調節を行う
- 5 浴槽手すりを浴槽に取り付ける

使いかた

ご使用前の点検 P.13

使いかた P.13〜14

お手入れの方法 P.15

困ったとき

おかしいな？と思ったら P.16

点検 P.16

交換部品 P.17

仕様 P.17

保証とアフターサービス P.18〜19
- ■不具合が発生したとき
- ■保証書

ARONKASEI CO.,LTD.

必ずお読みください

各部のなまえ

グリップ部
スライド板カバー
グリップ支柱
フレームカバー
フレームカバー
キャップ（4個）
ゴム板
グリップ固定ネジ
スライド板
フレーム
ハンドル
ゴムシート
(上縁部)
ゴムシート
(側面部)
内グリップ
押圧板

■本体及び、部品•付属品

※組立て前に同梱品をご確認ください。

（本体）

本体

（部品•付属品）

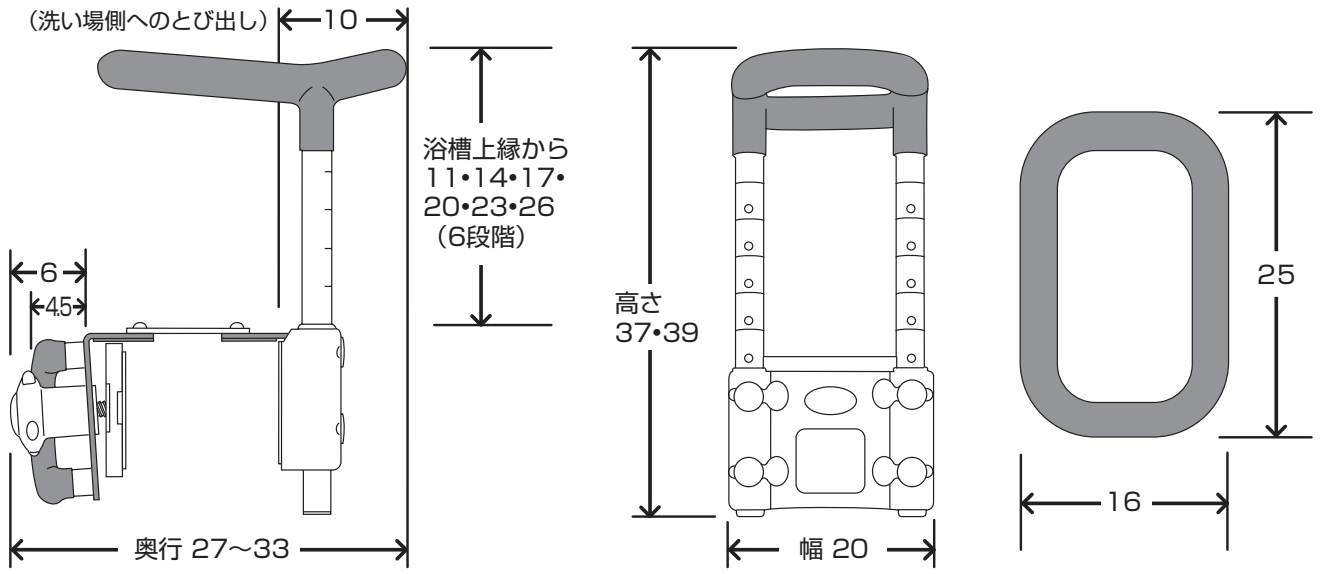
内グリップ
1個

六角レンチ
3mm 1本
（内グリップ固定用）
4mm 1本
（フレーム調節用）

内グリップ
取付ネジ
2本

段差補正板
16cm×6cm×厚み5mm
3枚

■商品寸法図（単位cm）



必ずお読みください

取り付け前のご確認

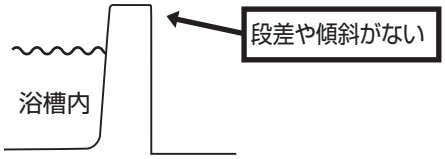
この製品は 取り付けできる浴槽 と 取り付けできない浴槽 があります。
必ず「取り付けできる浴槽」に取り付けてください。

取り付けできない浴槽に無理に取り付けた場合
- ●手すりが外れてバランスを崩して転倒やケガの原因になります。
- ●浴槽の変形、破損の原因になります。

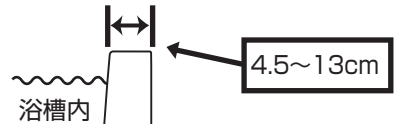
取り付けできる浴槽（全て満たすこと）

浴槽の形状

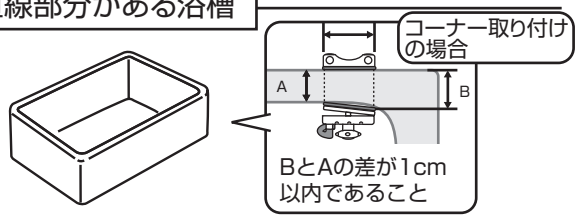
●浴槽上縁部が平らな浴槽



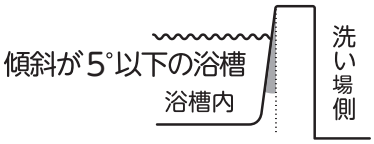
●浴槽の壁厚が4.5～13cm



●直線部分がある浴槽

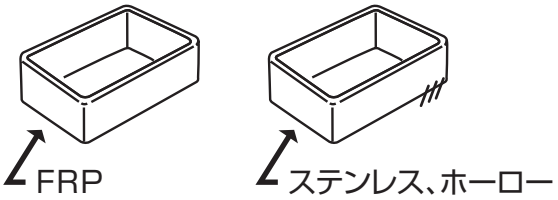


●傾斜が少ない浴槽



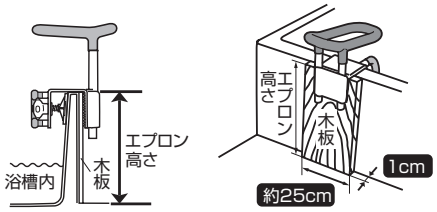
浴槽の材質

●FRP、ステンレス製、ホーローの浴槽



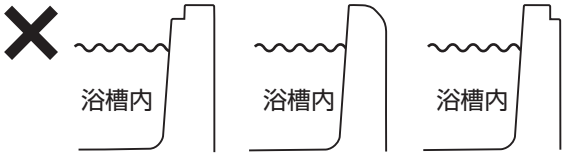
浴槽壁の強度

- ●右記のタイプは浴槽壁の強度が足りず、取り付けできません。
- ●上記の浴槽で強度に不安がある場合（指で押すとたわむなど）は、浴槽壁を補強してください。
- ●壁の補強として、約幅25×厚さ1㎝で、エプロン高さに合わせた長さの木板を用意し、洗い場側にあてがい取り付けてください。

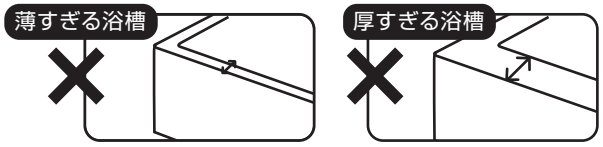


取り付けできない浴槽

●浴槽上縁部に段差や傾斜のある浴槽

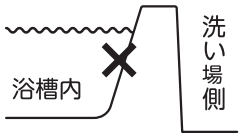


●条件外の壁厚の浴槽（4.5～13cm以外）

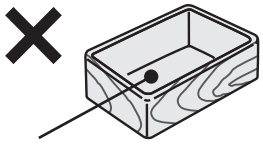


●湾曲のきつい浴槽、または部位（コーナー部）

●傾斜がきつい浴槽

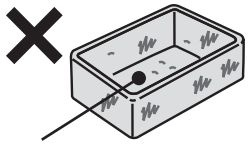


●木製や大理石の浴槽



内側がぬめる、著しくすべりやすい浴槽には取り付けできません。

●著しく劣化した浴槽



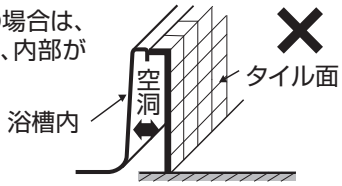
表面にざらつきや細かなヒビ割れがある浴槽には取り付けできません。

●浴槽外側のエプロン部を取り外しできる浴槽

※判断がつかない場合は浴槽施行業社又はお買い上げの販売店にご確認ください。

●タイル張りで、浴槽壁内部が空洞の浴槽

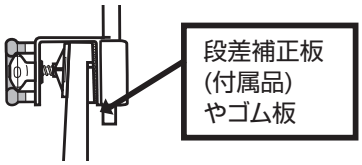
※天面・側面がタイル張りの場合は、タイル面を軽くたたいて、内部が空洞か確認してください。



必ずお読みください　取り付け前のご確認

付属品等を使って取り付けできる浴槽

●右図のような縁の下部に段差のある浴槽は、上表の「取り付けできる浴槽」の条件を満たした上で、必ず段差を埋めて、取り付けを行ってください。



❗ 詳しい取り付け方法は、取り付けかたのページ(P.8～12)を参照してください。

必ずお読みください　安全上のご注意　(必ずお守りください)

※ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、あなたや他人への危害を未然に防止するためのものです。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

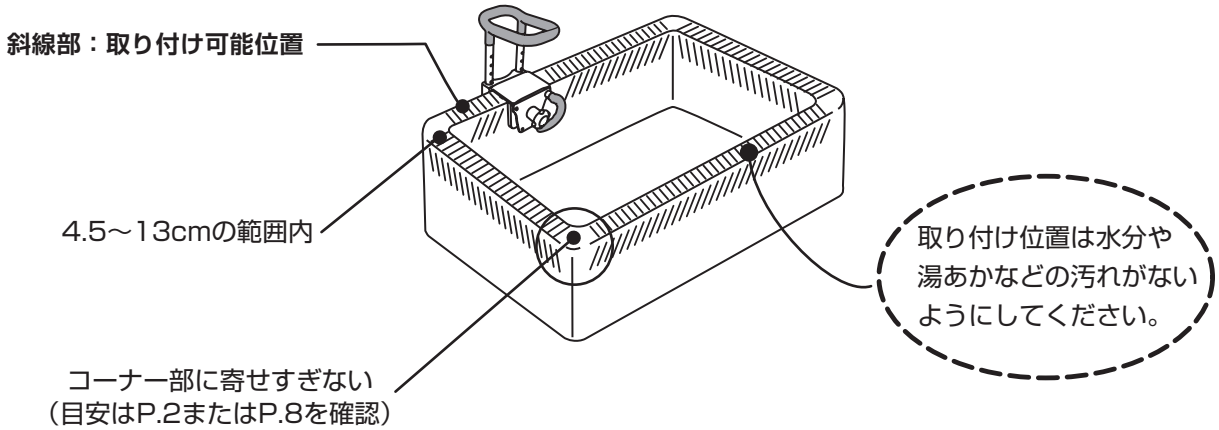
⚠警告	誤った使いかたをすると「**死亡または重傷などを負う可能性が想定される**」内容を説明しています。
⚠注意	誤った使いかたをすると「**傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される**」内容を説明しています。

浴槽への取り付け上のご注意

❗ 安全な使い方（必ず守ること）

P.2「取り付け前のご確認」の項目を必ず守ってください。

安全な使い方（正しい状態）



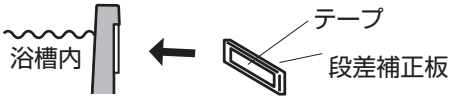
安全な使い方（必ず守ること）

段差補正を行うときは、しっかり固定するために、必ず以下に従うこと

●段差補正板や木板、ゴム板は必ず洗い場側へ取り付けること

●段差補正板・木板・ゴム板は必ずテープで固定すること

万一段差補正板がとれた場合、浴槽壁に残ったのりをきれいに取り除き、市販の強力な両面テープで段差補正板を貼り直してからご使用ください。

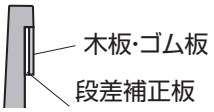


●段差と段差補正板・木板・ゴム板の寸法はできる限り合わせること。完全に寸法が合わない場合、段差補正板等が浴槽の段差よりはみ出さないようすること

●木板・ゴム板にぬめりや反りがないか確認すること

ぬめりは取り除き、反りがある場合は交換してください。

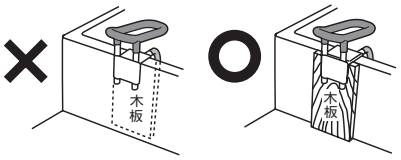
●段差補正板と木板・ゴム板を併用する場合は段差補正板を先に浴槽壁に取り付けること

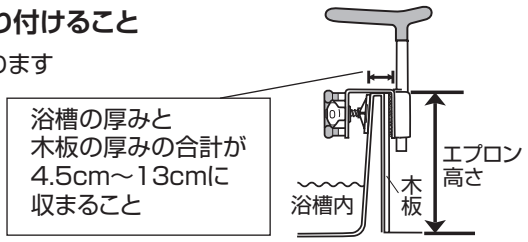


外壁の強度が弱い場合は、必ず以下を行うこと

●壁の補強として、幅約25cm×厚さ1cm以上で、エプロン高さに合わせたサイズの木板を用意し、浴槽壁の外側にあてがい、取り付けること

木板を浴槽の内側に取り付けると、ぬめりが発生しやすくなります





●木板にぬめりや反りがないか確認すること

ぬめりは取り除き、反りがある場合は交換してください。

絶対にしないこと

⚠ 警告

●上図の 安全な使い方（正しい状態） 以外の取り付けを行わないこと。

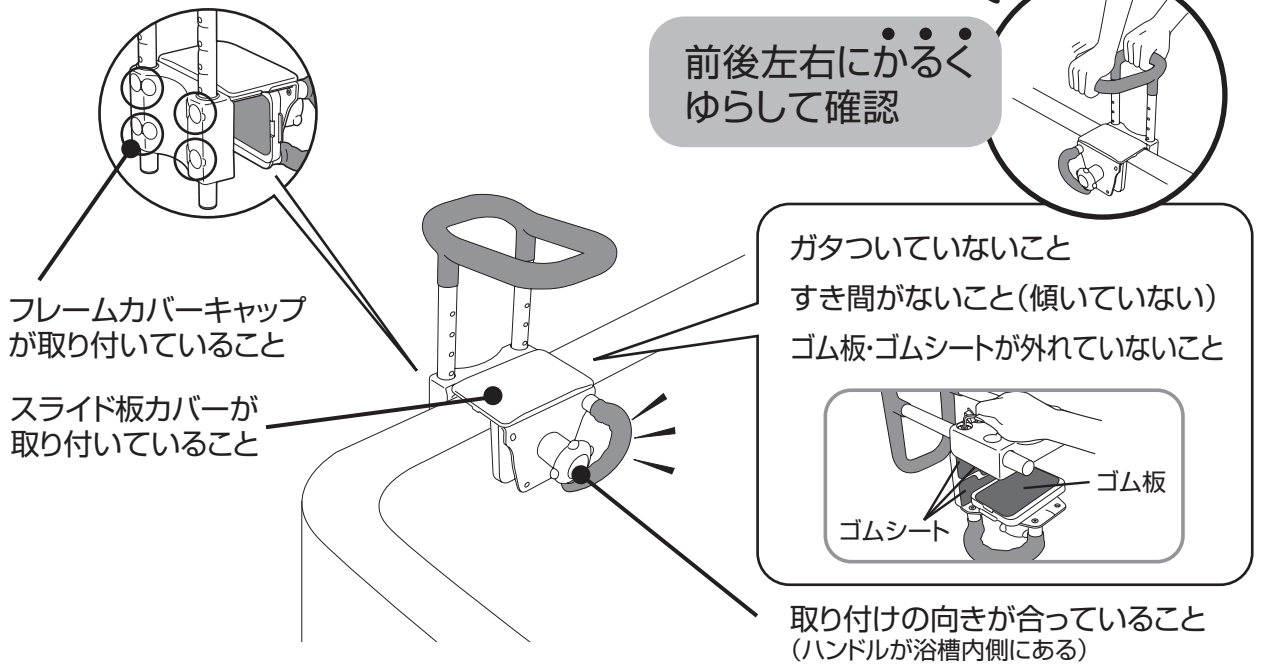
しっかり固定できず、手すりがずれたり浴槽から外れたりし、転倒やケガの原因になります。

使用前のご注意

安全な使い方（必ず守ること）

正しく取り付いている状態

毎回、ご使用前に以下を点検してください。

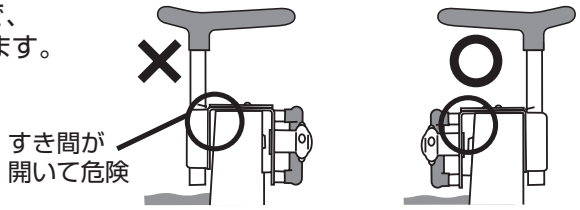


絶対にしないこと

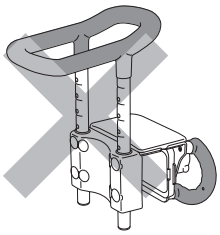
⚠ 警告

●製品を逆向きに（ハンドルが洗い場側にある）取り付けないこと

浴槽は底に向かって角度がついているので、
反対に向けて取り付けると、すき間ができます。



●グリップを本体から抜き取り、反対向きに取り付けないこと

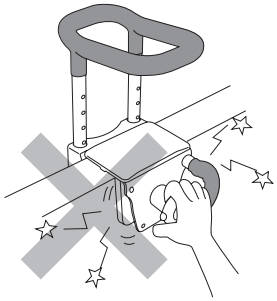


⚠ 注意

●ハンドルを必要以上に締め付けないこと

浴槽が変形、または破損する原因になります。

※高齢の力の弱い方は、しっかり締められない可能性があるため、介助者が行うか、お買い上げの販売店やケアマネジャーなど専門家に相談してください。

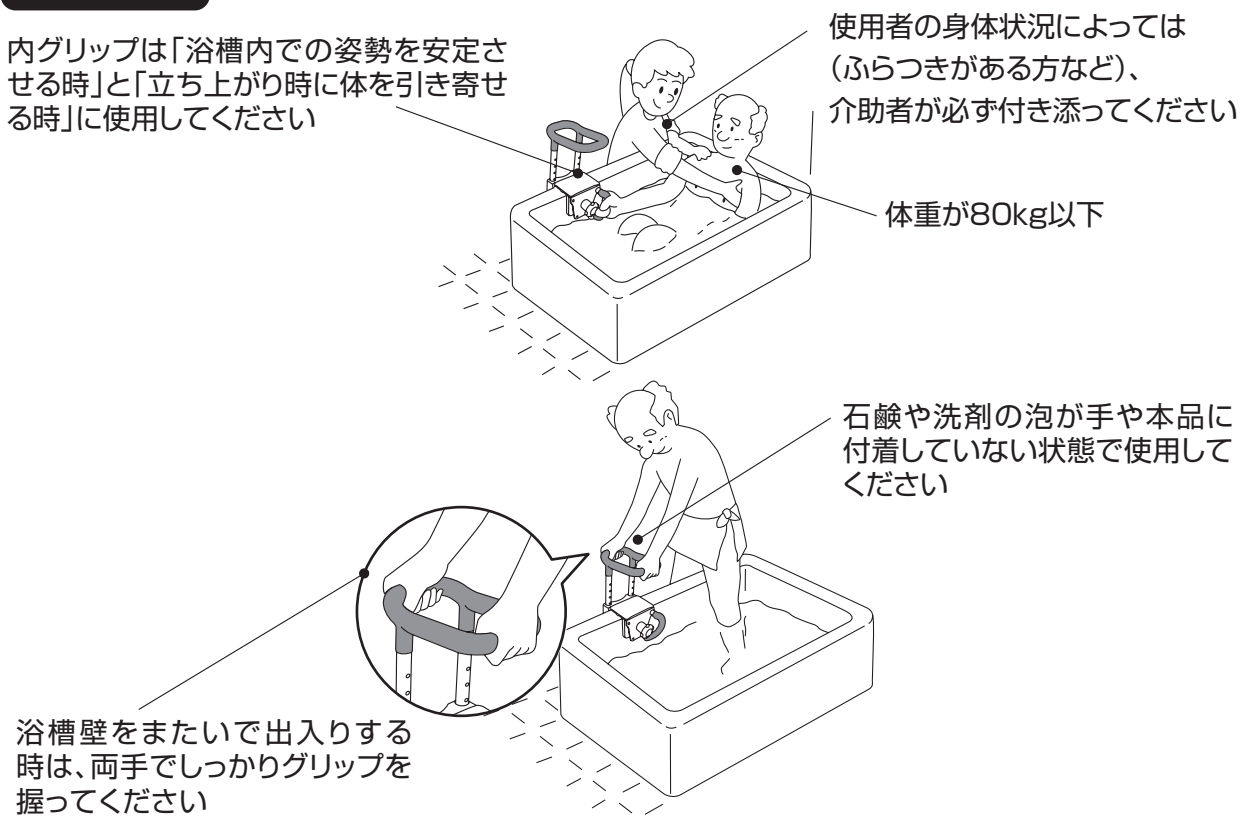


使用中のご注意

安全な使い方（必ず守ること）

※必ず本品がしっかりと浴槽に固定されていることを確認してからご使用ください。

安全な使い方

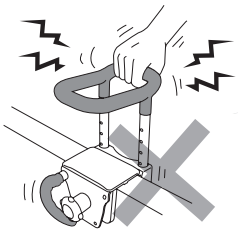


絶対にしないこと

⚠ 警告

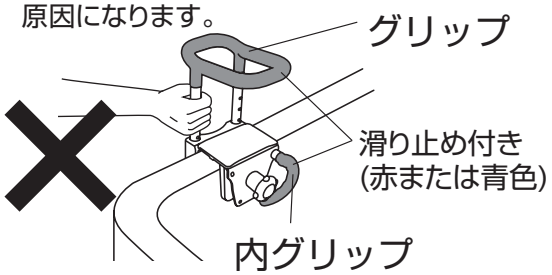
●浴槽手すり以外の用途で使用しないこと
浴槽手すりに座る、子供を遊ばせる等、浴槽手すり以外の用途で使用すると、製品や浴槽の破損、けがの原因になります。

●浴槽手すりに過度な荷重をかけないこと
反動をつけて使用したり、全体重が手すりにかかるような乱暴な使い方をすると、浴槽が破損したり、使用中に手すりが外れ、転倒やけがの原因になります。



●体重が80kgを超える方は使用しないこと
浴槽手すりが浴槽から外れやすくなり、けがの原因になります。

●グリップ、内グリップ以外の部分を支えにしないこと
本品が破損したり、手がすべり、転倒やけがの原因になります。



⚠ 注意

●製品や手に石鹸や洗剤の泡が付着した状態で使用しないこと
手がすべり、けがの原因になります。

●温泉水や、入浴剤は使用しないこと
製品が劣化する原因になります。

●塩素系薬剤による風呂水洗浄をしている浴槽には使用しないこと。
製品が劣化する原因になります。
※通常の水道水では問題ありません。

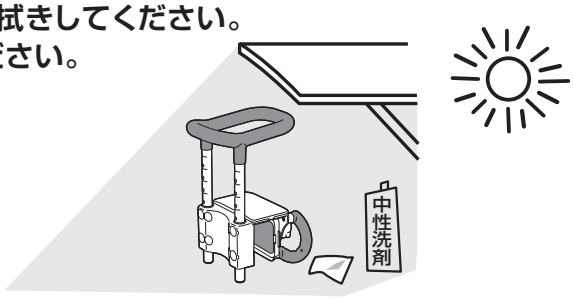
お手入れ上のご注意

安全な使い方（必ず守ること）

正しいお手入れの仕方　**お手入れ時に確認してください。**

●中性洗剤をうすめて、スポンジかやわらかい布に含ませ汚れを取ったあと、きれいな水で洗剤を洗い流し、かげ干しか、やわらかい布で空拭きしてください。
また、消毒する場合はアルコールで消毒してください。

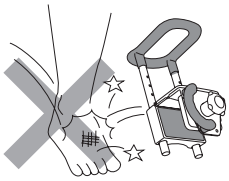
※こまめにお手入れをしてください。カビやぬめりが発生するとすべりやすくなる原因になります。
※十分なお手入れをしていても、使用環境によってはカビが発生してしまう場合があります。



●定期的（約1カ月）に製品を取り外し、浴槽や本体を清掃してから取り付けてください。
ゴムシートが劣化し、製品が外れたり、浴槽の変色や汚れが付着する原因になります。

●製品を浴槽から取り外し、再度取り付けたときはP.13の「ご使用前の点検」を確認してください。

●本製品は重量があります。足の上に落とさないよう取り扱いには十分注意してください。



絶対にしないこと

⚠ 警告

●改造や分解をしないこと　本体機能が正常にはたらかず、けがの原因になります。

●商品梱包用のポリ袋は幼児の手が届くところに置かないこと
幼児がかぶると窒息するおそれがあります。

⚠ 注意

以下のお手入れを行うと、製品の変色や劣化がすすむ原因になります。

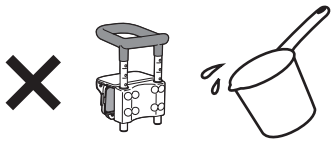
●45℃以上のお湯では使用しないこと
ゴムシートがはがれやすくなります。

●次にあげるものではお手入れしないこと

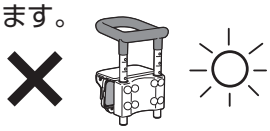
- シンナー　• クレゾール
- 酸、アルカリ性洗剤
- 塩素系薬剤（洗剤）や熱湯（煮沸消毒など）による殺菌、消毒
- 磨き粉、タワシ、研磨剤入りスポンジ、その他製品を傷つけるもの

製品が劣化し、破損の原因になります。

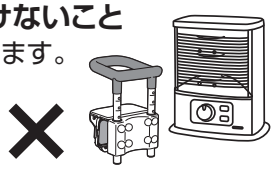
●温泉水、入浴剤をかけてのお手入れはしないこと
製品が劣化します。



●戸外に放置したり、直射日光に当てたりしないこと
劣化および変色の原因になります。



●ストーブなどの火気に近づけないこと
火災や変形、変色の原因になります。



●アルコール以外で消毒しないこと
劣化および変色の原因になります。

取り付けかた•組み立てかた

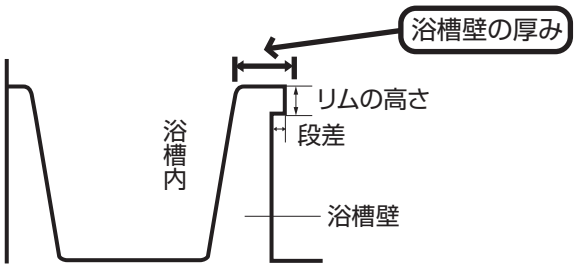
●取り付けに不安のある方は、介助者が取り付け、取り外しを行うか、お買い上げの販売店やケアマネジャーなど専門家に相談してください。高齢の力の弱い方が行うと、しっかり取り付けられない可能性があります。

●取り付ける前と後にP.3〜4の安全上のご注意（浴槽への取り付け上のご注意）をよくご確認ください。

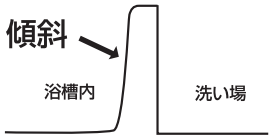
フィッティング（高さ設定など）や取り付け位置は、使う方の体格や入浴動作をしやすいよう、お買い上げの販売店やケアマネジャー等の専門家に相談することをおすすめします。

1 浴槽手すりを取り付ける位置を決める

❶ 取り付け位置の浴槽壁の幅（厚み）を測ってください。（取り付け可能な浴槽の壁厚は**4.5〜13cm**です。）



●浴槽内壁に傾斜があるときはその数値に＋0.5cmしてください。

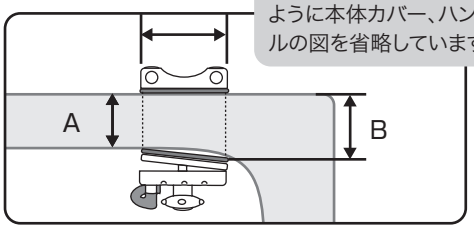


（例）7cmの場合

傾斜があるとき　7＋0.5＝7.5㎝

傾斜がないとき　7㎝

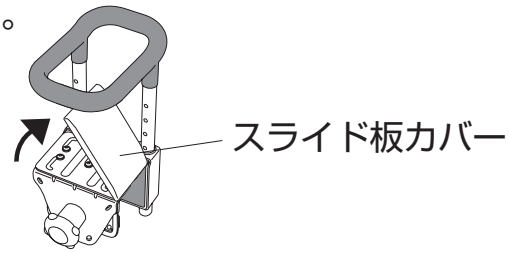
●端に寄せて取り付ける場合は、BとAの差が1cm以内であることを確認してください。



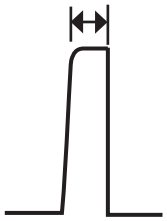
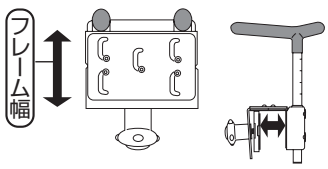
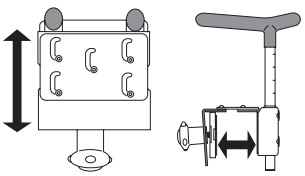
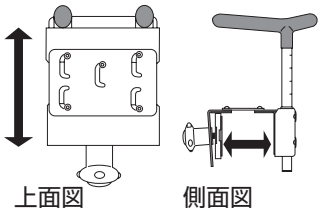
2 浴槽手すりの幅調節を行う

浴槽壁の厚みによって、あらかじめ本体の調節が必要な場合があります。
下表に従い、取りつける浴槽の厚みに合わせて、幅調節を行ってください。

❶ スライド板カバーを外してください。



❷ 浴槽壁の厚みを測り、範囲(1)〜(3)のどれに適合するか範囲を確認し、下図の通りに、フレーム幅を調節してください。

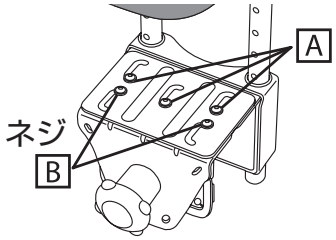
浴槽壁の厚み	範囲(1) 4.5〜7㎝	範囲(2) 7.1〜10㎝	範囲(3) 10.1〜13㎝
	※開封時の状態です  上面図　側面図	 上面図　側面図	 上面図　側面図

取り付けかた•組み立てかた

フレームのスライド方法

❶ 付属の六角レンチ（4mm）でネジを緩めます。

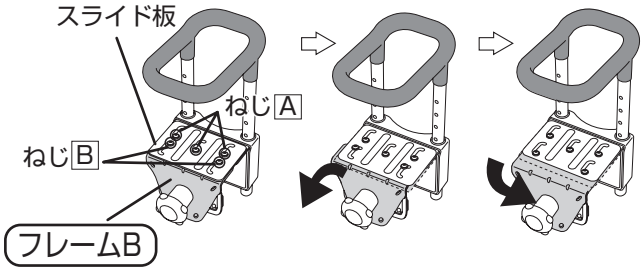
分解することなく、フレームの幅調整ができるため、ネジを完全に取り外さないでください。



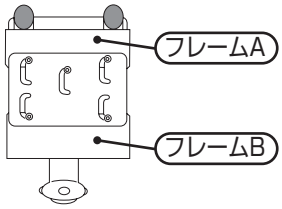
範囲(1) の場合 4.5〜7cm	範囲(2)の場合 7.1〜10cm	範囲(3)の場合 10.1〜13cm
不要 ネジが左図の位置で締めつけられているか確認する	B のネジ2本を緩める	A のネジを3本、 B のネジを2本を緩める
フレームのスライド方法	ⓐ へ	ⓑ へ

❷ フレームをスライドさせ、しっかりとネジ5本をガタつかないよう、締めます。

ⓐ 範囲(2)の場合 7.1〜10cm　フレームBを右図のようにスライドさせます



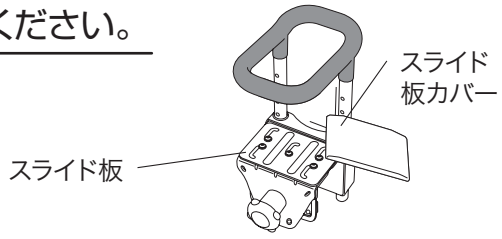
ⓑ 範囲(3)の場合 10.1〜13cm　ⓐの操作を行ってから、同様にフレームAもスライドさせます



⚠ 警告	**ネジは、右図の×の位置では固定しないこと** **また、確実にしっかりと締めること** 使用中に本品が浴槽から外れ、けがの原因になります。

❸ スライド板カバーをスライド板に押し当てて固定してください。

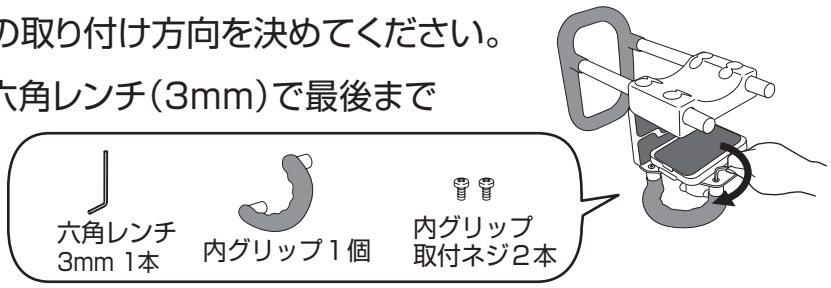
※スライド板カバーが閉まらない場合は、
ネジが正しい取り付け位置に取り付いていないため、
取り付けなおすこと。



3 内グリップを取り付ける（内グリップは左右どちら側でも取り付けできます）

❶ 使いやすい向きを選び、内グリップの取り付け方向を決めてください。

❷ 2本の内グリップ取付ネジを付属の六角レンチ（3mm）で最後まで強く締め込んでください。



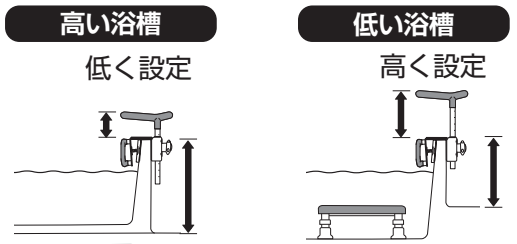
⚠ 警告	**付属のネジ（2本）でガタつかないように締め付けること。** ネジが緩んでいると、使用中に内グリップがガタつき、けがの原因になります。

取り付けかた•組み立てかた

4 グリップの高さ調節を行う

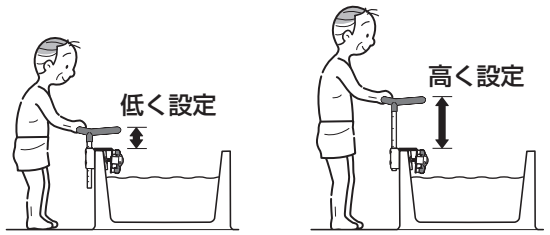
浴室環境や利用者の体格、症状に合わせて、グリップの高さ調節を行ってください。

① 浴槽に合わせて高さ調節



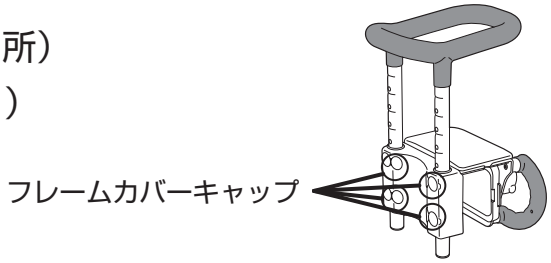
（据置式浴槽）　（埋込式浴槽）

② 体格に合わせて高さ調節

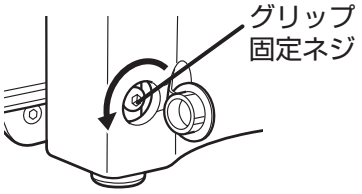


小柄な方も大柄な方も握りやすい高さに設定できます。

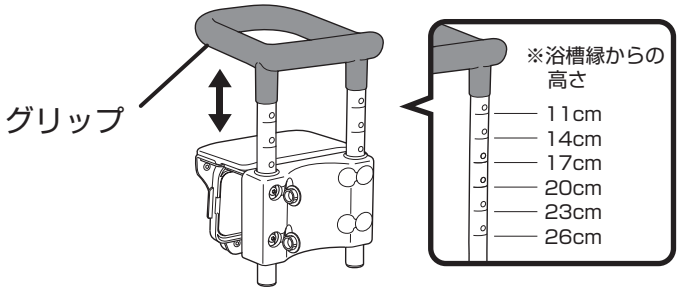
❶ フレームカバーキャップを外してください。（4ケ所）
※開梱時は浴槽の縁から23cm（下から2番目）の高さに設定されています。



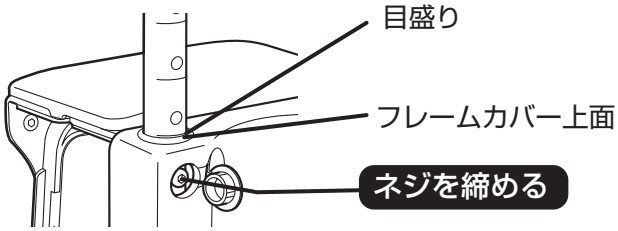
❷ 付属の六角レンチ（4mm）でグリップ固定ネジを外してください。（4ケ所）



❸ グリップをスライドさせてお好みの高さに設定してください。



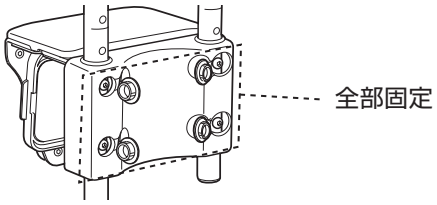
❹ 手すり本体にある目盛りとフレームカバーの上面を合わせながらグリップ固定ネジを締めてください。（4ケ所）



警告

グリップ固定ネジ（4本）でしっかり締め付けること
ネジが緩んでいると、使用中にネジが外れ、破損やけがの原因になります。

（例）



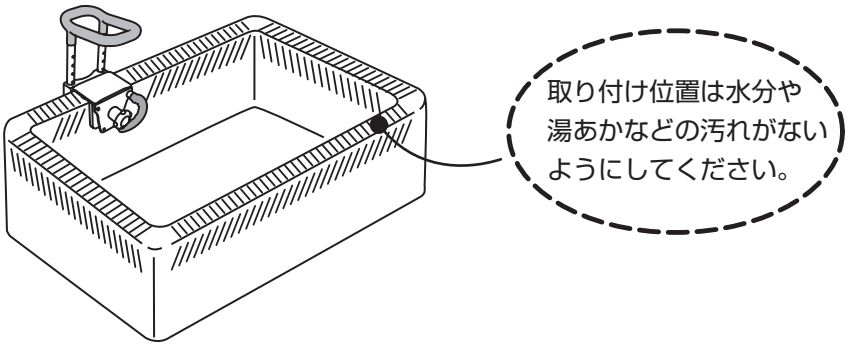
❺ 最後に ❶ で外したフレームカバーキャップを元通りにはめてください。

取り付けかた•組み立てかた

5 浴槽手すりを浴槽に取り付ける

※P.2〜3の「取り付け前のご確認」の“取り付けできる浴槽／取り付けできない浴槽”を必ずご確認ください。判断がつかない場合は、浴室施工業者又はお買い上げの販売店にご確認ください。

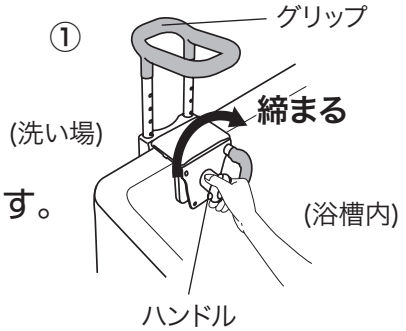
※初めて取り付けた時や、浴槽から製品を取り外して再度取り付けを行ったときは、必ずしっかり取り付いてガタつきがないか点検してください。

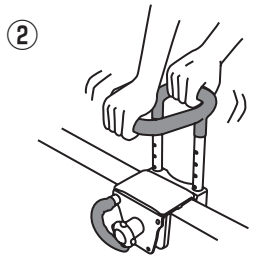


1. そのまま取り付けられる場合

❶ **ハンドルが浴槽の内側に向くように**取り付けます。

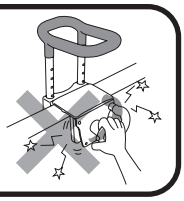
❷ 浴槽壁に図のようにセットし、ハンドルを右に回して取り付けます。
※締めつけ具合はグリップを握り前後左右にかるくゆらし、動かない程度が目安です。





⚠ 注意

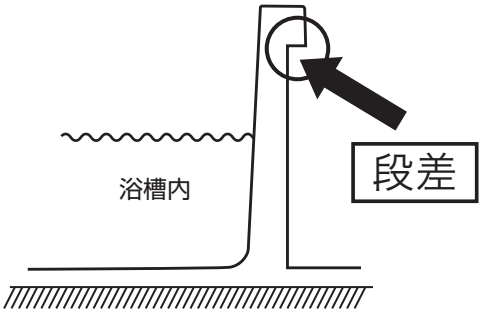
ハンドルを必要以上に締め付けないこと
浴槽が変形、または破損する原因になります。

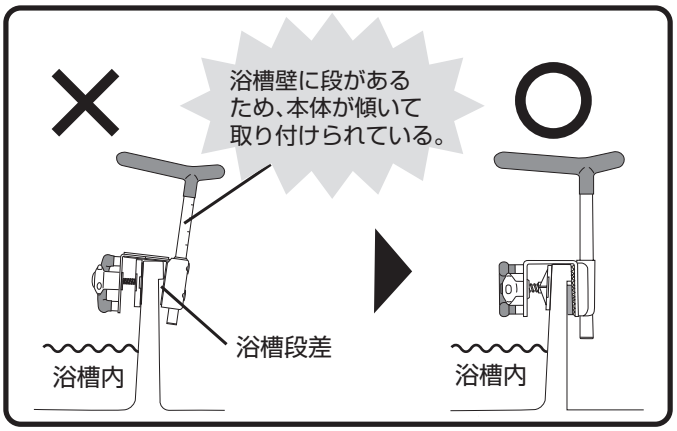


2. 段差補正が必要な場合

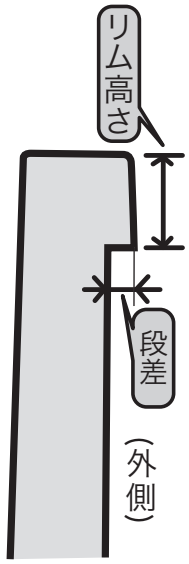
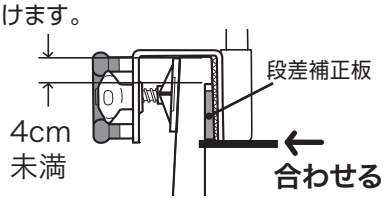
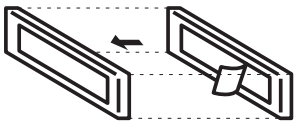
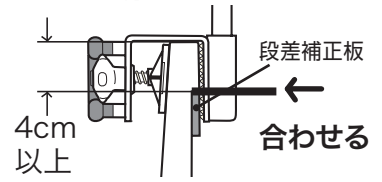
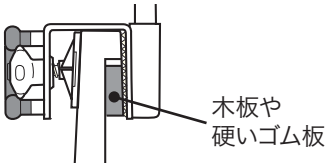
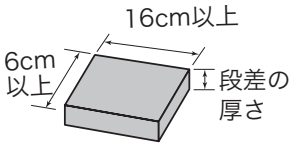
縁に段差のある浴槽

浴槽の外側に図のような段差がある場合、段差を補正すると取り付けることができます。





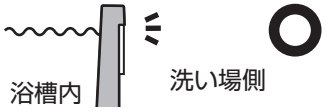
取り付けかた・組み立てかた

浴槽壁の形状	段差	リム高さ	段差の補正方法	補正の板
	1.5cm以下	4cm未満	浴槽手すり本体のゴムシート部下端に合わせた位置に、段差補正板を貼り付けます。 	●段差補正板3枚【付属品】 （16cm×6cm×厚さ5mm） 
		4cm以上	リム下端に接する位置へ、段差補正板を貼り付けます。 	段差厚(cm) / 段差補正板必要枚数 0.5 / 1枚 1.0 / 2枚 1.5 / 3枚
	1.6cm以上	―	段差に合わせた厚みの木板または硬いゴム板を別途ご用意いただき、取り付けてください。 	●木板または硬いゴム板 【別途ご用意ください】 

⚠警告

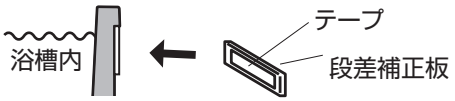
段差補正を行うときは、しっかり固定するために、必ず以下に従うこと

●段差補正板や木板、ゴム板は必ず洗い場側へ取り付けること



●段差補正板・木板・ゴム板は必ずテープで固定すること

万一段差補正板がとれた場合、浴槽壁に残ったのりをきれいに取り除き、市販の強力な両面テープで段差補正板を貼り直してからご使用ください。

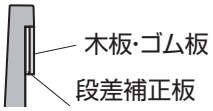


●段差と段差補正板・木板・ゴム板の寸法はできる限り合わせること。完全に寸法が合わない場合、段差補正板等が浴槽の段差よりはみ出さないようすること

●木板・ゴム板にぬめりや反りがないか確認すること

ぬめりは取り除き、反りがある場合は交換してください。

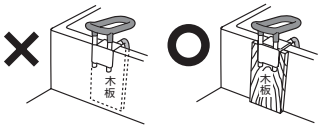
●段差補正板と木板・ゴム板を併用する場合は段差補正板を先に浴槽壁に取り付けること

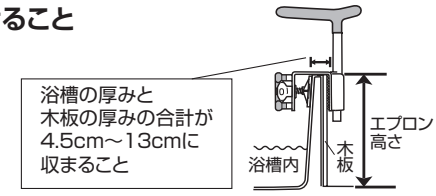


外壁の強度が弱い場合は、必ず以下を行うこと

●壁の補強として、幅約25cm×厚さ1cm以上で、エプロン高さに合わせたサイズの木板を用意し、浴槽壁の外側にあてがい、取り付けること

木板を浴槽の内側に取り付けると、ぬめりが発生しやすくなります





●木板にぬめりや反りがないか確認すること

ぬめりは取り除き、反りがある場合は交換してください。

使いかた　ご使用前の点検

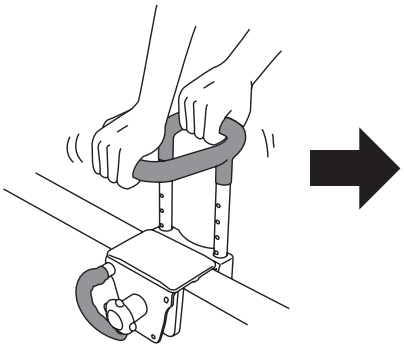
使用する前に確認してください

※必ず本品がしっかりと浴槽に固定されていることを確認してからご使用ください。

ネジやハンドルがゆるんでいないか、浴槽との間にすき間がないか、確認してください。

確認方法

製品を前後左右にかるくゆらし、ガタつきがないか確認する



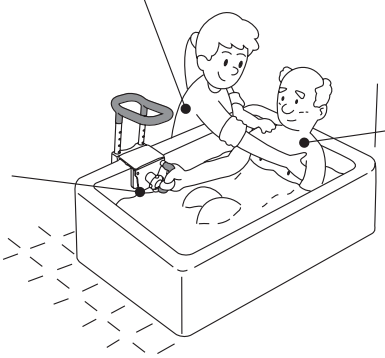
ガタつき、すき間がある場合は、製品を取り外し、再度、すき間がないよう取り付けてください

※上記の対応でガタつきやずれが直らない場合は、P.16を確認し、それぞれ対応してください。

使いかた　使いかた

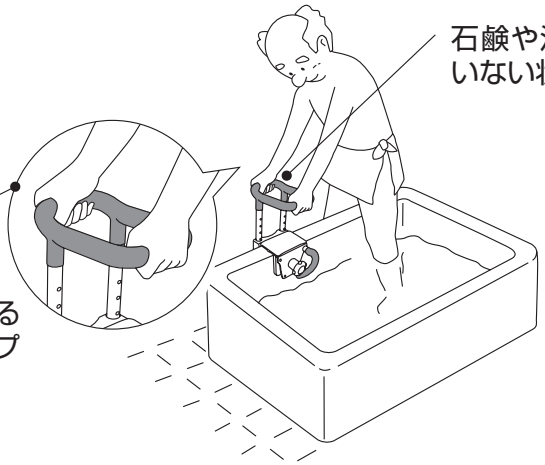
安全な使い方

使用者の身体状況によっては（ふらつきがある方など）、介助者が必ず付き添ってください



体重が80kg以下

内グリップは浴槽内での「姿勢を安定させる時」と「立ち上がり時に体を引き寄せる時」に使用してください



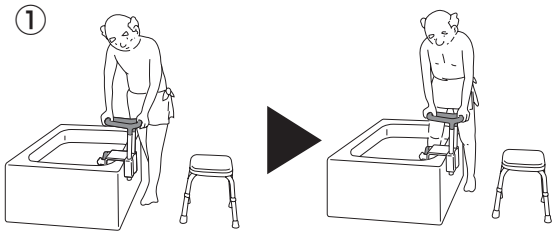
石鹸や洗剤の泡が手や本品に付着していない状態で使用してください

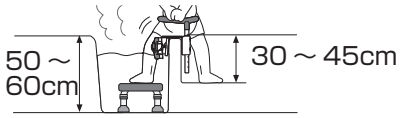
浴槽壁をまたいで出入りする場合は、両手でしっかりグリップを握ってください

使いかた

❶ 浴槽をまたぐときに使用する。

両手でグリップをしっかり握って、片足ずつゆっくりと移動してください。

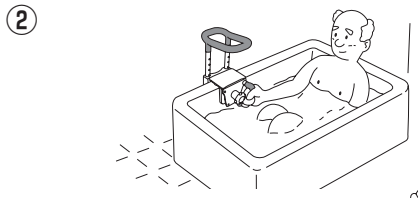




※埋込式浴槽の場合は、浴槽台を併用し、洗い場の高さと浴槽の高さを揃えると、より安心して立ち座りできます。

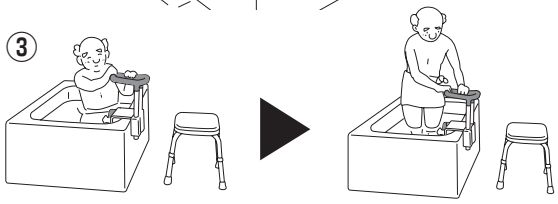
❷ 浴槽内での姿勢安定に使用する。

内グリップを握って、浴槽内で身体を安定させてください。



❸ 浴槽内からの立ち座りに使用する。

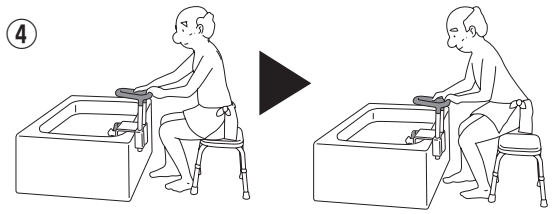
内グリップやグリップを握って、
身体を支えながら立ち座りを行なってください。



❹ 洗い場で、いすからの立ち座りに使用する。

グリップを握って、身体を支えながら立ち座りを行ってください。

※シャワーベンチを併用すると、より安心して立ち座りできます。



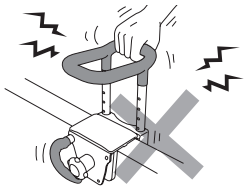
⚠警告

●浴槽手すり以外の用途で使用しないこと

浴槽手すりに座る、子供を遊ばせる等、浴槽手すり以外の用途で使用すると、製品や浴槽の破損、けがの原因になります。

●浴槽手すりに過度な荷重をかけないこと

反動をつけて使用したり、全体重が手すりにかかるような乱暴な使い方をすると、浴槽が破損したり、使用中に手すりが外れ、転倒やけがの原因になります。

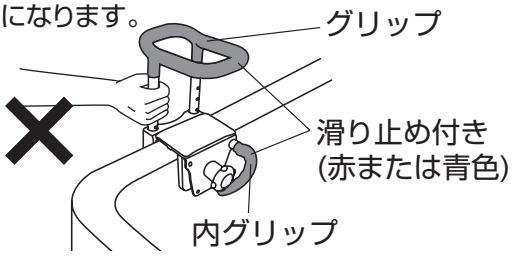


●体重が80kgを超える方は使用しないこと

浴槽手すりが浴槽から外れやすくなり、けがの原因になります。

●グリップ、内グリップ以外の部分を支えにしないこと

本品が破損したり、手がすべり、転倒やけがの原因になります。



⚠注意

●製品や手に石鹸や洗剤の泡が付着した状態で使用しないこと

手がすべり、転倒しけがの原因になります。

●温泉水や、入浴剤は使用しないこと　製品が劣化する原因になります。

●塩素系薬剤による風呂水洗浄をしている浴槽には使用しないこと。

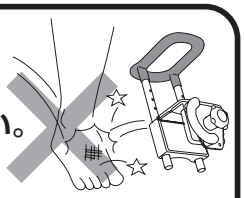
製品が劣化する原因になります。　※通常の水道水では問題ありません。

お手入れの方法

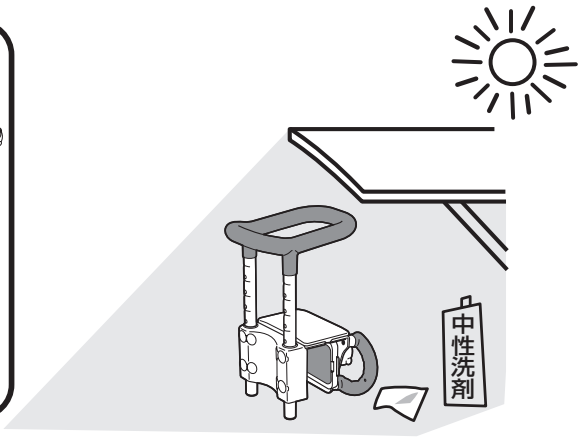
中性洗剤をうすめて、スポンジかやわらかい布にふくませ、汚れを取ったあと、きれいな水で洗剤を洗い流し、かげ干しか、やわらかい布で空拭きしてください。

⚠注意

●本製品は重量があります。
足の上に落とさないよう、
取り扱いには十分注意してください。



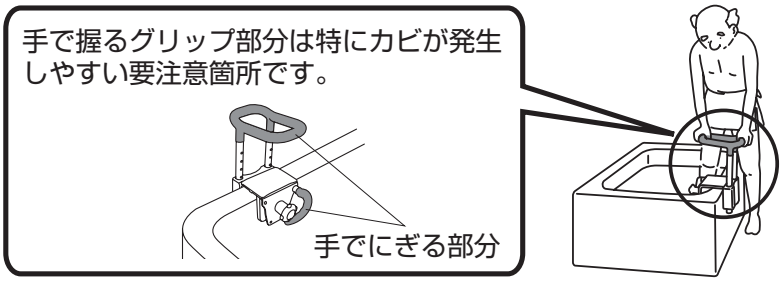
●定期的（約1カ月）に製品を取り外し、浴槽や本体を清掃してから取り付けてください。
ゴムシートが劣化し、製品が外れたり、浴槽の変色や汚れが付着する原因になります。



※製品を浴槽から取り外し、再度取り付けたときはP.13の「ご使用前の点検」を確認してください。
※消毒はアルコールを使用してください。また、P.7の「お手入れ上のご注意」も参照してください。

■カビの発生予防

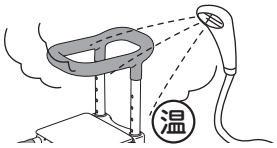
カビやぬめりが発生するとすべりやすくなる原因となります。
こまめにお手入れしてください。
※十分なお手入れをしていても、使用環境によっては、カビが発生してしまう場合があります。



浴室は湿度が高く、カビが発生しやすい場所です。日常のお手入れで清潔を保ちましょう。

❶ 使用後、製品にお湯をかける（カビの栄養を洗い流す）

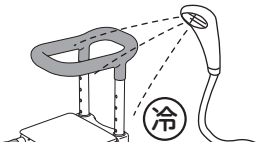
ご使用になった製品にお湯をかけ、湯あかなどのカビの栄養素を溶かして洗い流します。
※やけどには十分にお気をつけください。



⚠注意
45℃以上のお湯は使用しないこと。
ゴムシートがはがれやすくなります。

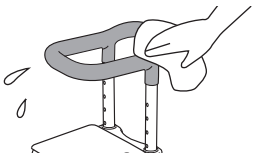
❷ 冷たい水をかける（温度を下げる）

次に、冷たい水をかけて、熱気がこもらないように冷やします。



❸ 水気をとり乾燥させる（湿度を下げる）

最後に製品の水気をとり、直射日光をさけて風通しのよい場所で乾燥させます。



困ったとき　おかしいな?と思ったら

Q 浴槽に取り付け後、浴槽手すりがガタつきます。

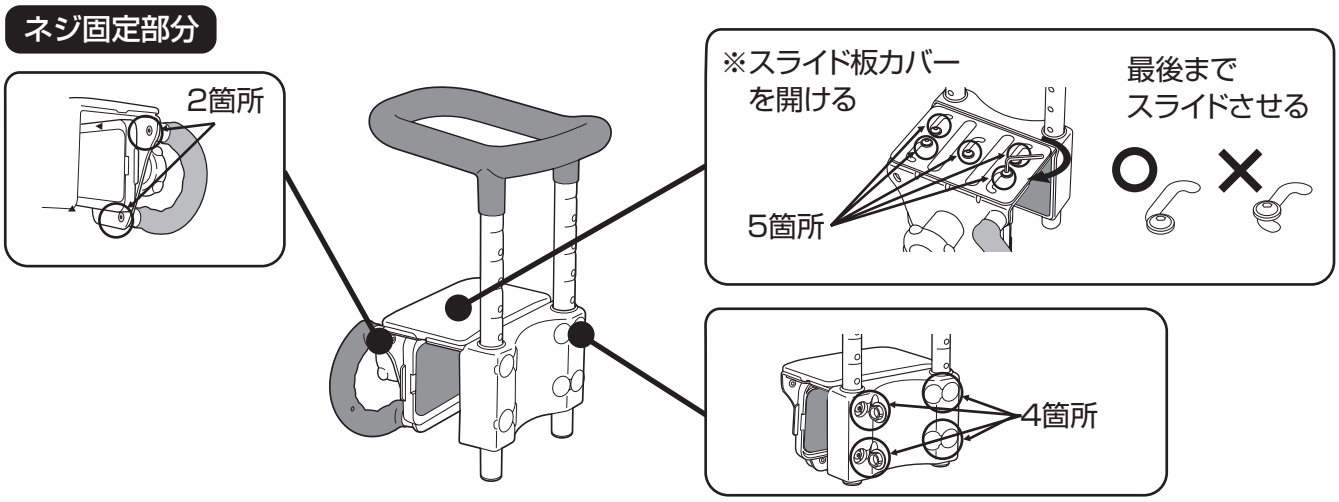
A 下記の点検項目を確認し、対処してください。

困ったとき　点検

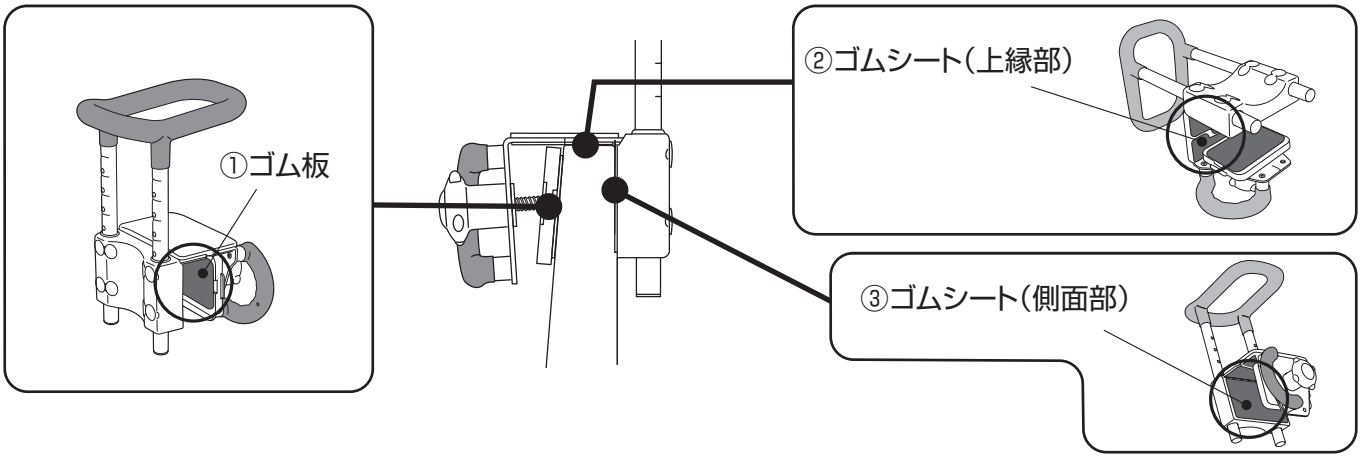
ガタつきが本品を浴槽へ再度しっかり取り付けることで直らない場合、以下を確認してください。

以下の対応でガタつきが直らない場合はただちに使用を止め、お買い上げの販売店や弊社「お客様相談室」までご相談ください。(お客様相談室:0120-86-7735)

❶ネジがゆるんでいる場合があります。しっかり締めなおしてください。



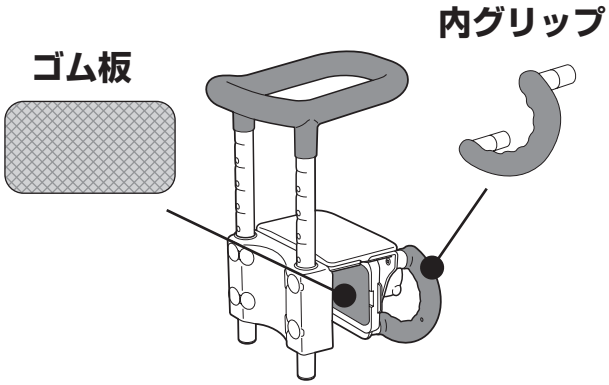
❷ゴム板やゴムシートが外れていた場合は、以下の対応をしてください。



①(ゴム板)が外れた場合は、P.17「ゴム板の交換方法」を参考にしてはめてください。
②③(ゴムシート)がはがれた場合は、ただちに使用を中止し、ゴムシートを購入、交換してください。

困ったとき　交換部品

内グリップ、押圧板のゴム板、ゴムシートは交換部品です。
汚れや変形、破損（裏面ボスがちぎれる等）などの劣化があれば、お買い求めになった販売店にお問合わせの上ご購入し、交換してください。

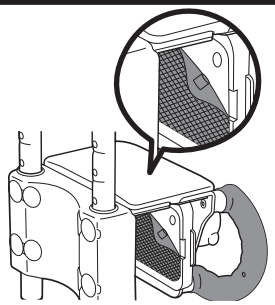


内グリップの交換方法

P. 8を参照してください。

ゴム板の交換方法

①押圧板のゴム板を端からはがしてください。
②新しいゴム板の裏面4ヶ所の凸部を押圧板凹部4ヶ所にはめ込んでください。



ゴムシートの交換方法

部品購入時、ゴムシートに部品交換用取説が付属していますので、ご参照ください。

■仕様

品名	高さ調節付浴槽手すり UST－130	
構成部品	部品名	材質
	ハンドル、内グリップ、押圧板、フレームカバー	ポリプロピレン　※内グリップはエラストマー被覆（防カビ加工）
	グリップ部、ゴム板、フレームカバーキャップ、ゴムシート（側面部）	エラストマー　※グリップ部（防カビ加工）
	フレーム、グリップ支柱、スライド板	ステンレス
	段差補正板、スライド板カバー	ポリエチレン
	ゴムシート（上縁部）	合成ゴム
サイズ	20×27～33×高さ37～39cm　グリップ高さ（浴槽上縁から）11・14・17・20・23・26cm	
重　量	約3.9kg	

廃棄上のご注意　おすまいの地域の分別ルールに従って廃棄してください。

SIAA
防カビ加工
JP0512240A0001Q

SIAA 防カビ剤ポジティブリスト第JP0501016A0001P号使用
防カビ加工部位：グリップ部（エラストマー被覆部分）、内グリップ（エラストマー被覆部分）
防カビ加工方法：練りこみ

⚠ **注意事項**

- 防カビ試験は、SIAA 指定法にて実施しています。
- 防カビ加工は、カビを死滅させるものではありません。
- 使用条件によってはカビが発生する場合があります。
- SIAA の安全性基準に適合しています。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

■不具合が発生したとき

万一故障したり、また異常を感じた場合は、ご自分で修理、改造などを絶対にしないで、お買い上げの販売店にご相談ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って修理させていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書（取扱説明書）を添えて、お買い上げの販売店にご依頼ください。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
部品供給、また修理対応期間はメーカー製品廃番後3年となります。
ただし、期間内でも破損箇所によっては、部品供給、または修理できないケースがございますのでご了承ください。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。
技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

保証とアフターサービス よくお読みください

必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、保証書内容をよくお読みの上、大切に保管してください。尚、保証書の再発行はいたしません。

保 証 書

この製品は、厳密な品質管理及び検査を経てお届けしたものです。お客様が取扱説明書・本体添付シール等の注意書きに従った使用状態で保証期間内に万一故障した場合には、本保証書記載内容により無料修理いたします。有効期間は、お買い上げの日より１年間です。

1．修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。修理に際しては、本保証書をご提示、もしくは添えてください。
2．本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
3．保証期間内でも下記の場合は、有料修理になります。
　1）保証書のご提示がない場合。
　2）本保証書のお買い上げ日、販売店の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
　3）使用上の誤り、あるいは改造、修理、調整による故障または損傷。
　4）お買い上げ後の輸送、移動、落下、その他の不適切な取り扱いによる故障または損傷。
　5）火災、地震、塩害、ガス害、風水害、落雷、その他の天災地変による故障または損傷。
　6）押圧ゴム板やゴムシートなど消耗品の損傷及び汚れ。
　7）業務用または一般家庭用以外にご使用の場合の故障または損傷。
4．本保証書は、日本国内においてのみ有効です。
　This warranty is valid only in Japan.
5．保証書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。したがって、保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

〈個人情報の取扱いについて〉

1）保証書にご記入いただいた住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用いたします。
　なお、本書にてお預かりするお客様の個人情報をお客様の同意を得ることなく、第三者に提供または開示いたしません。
2）修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を委託する場合、守秘義務契約を結び当社と同等の水準でお客様の個人情報を取り扱うように管理いたします。

★お買い上げ日	年　　月　　日
保 証 期 間	お買い上げ日より１年
お　客　様	ご住所　〒 ご芳名　　TEL
★ 販 売 店	住　所　〒 店　名　　TEL

★ 印欄に記入のない場合は有効となりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。
もし記入のない場合は直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。

見本
この保証書はご使用できません

●製品の仕様および価格は、予告なく変更する場合があります

製品に関するご意見・お問い合わせは

お客様相談室 フリーダイヤル **0120-86-7735**
（受付時間）祝祭日以外の月～金　10：00～16：00（12：00～13：00はのぞく）

・お客様からいただいたお電話は、内容確認のため、録音させていただいております。
・個人情報は適切に管理し、ご相談への回答などの情報提供のみに利用いたします。

製造・発売元
アロン化成株式会社
ライフサポート事業部
〒105-0003 東京都港区西新橋2-8-6 住友不動産日比谷ビル8階
URL　https://www.aronkasei.co.jp/　安寿　検索

26.10　919007-4